

ふむふむと聞くだけで明日から使える！ a-blog cmsの小技集

有限会社アップルップル 宇井 陸登



@poorman_ui

とりあえず自己紹介

- 2021年4月からアップルップルで働く、新米フロントエンドエンジニア
- a-blog cmsを使用した受託制作を担当している
- JavaScriptやフロントエンドの周辺ツールについて勉強中
- 2021年9月には「assign-holiday」というJSライブラリをリリース
- 好きな食べ物はすりおろしたりんご🍎



@poorman_ui

お品書き

- 自己紹介
- a-blog cms の小技を1つ1分以内くらいのテンポで紹介
- • 自分で考えた編
- • slackで募集した編
- 最後に



サイトのロゴマークをトップページだけh1タグで表示する

Webサイトのロゴマークをトップページだけh1タグで表示して、その他のページではpタグで表示したいです。

```
<!-- BEGIN_IF [{BID} eq 1 and {VIEW} eq top] --><h1 class="p-header-title">
<a href="{HOME_URL}">
  
</a>
<!-- BEGIN_IF [{BID} eq 1 and {VIEW} eq top] --></h1><!-- ELSE --><p>
```



@poorman_ui

サイト公開前にはサーバー環境情報を確認

管理画面チェックリスト及び、サーバーにinfo.phpを設置して確認します。

特に `max_input_vars` は99999 など多めに設定するのがおすすめです。

公式ドキュメント

サーバー環境情報

項目	設定値
メモリー占有量の上限	256M
アップロード上限サイズ	32M
POSTデータ上限サイズ	64M
同時アップロード上限ファイル数	100
PHPのバージョン	7.4.25
PHP動作環境	CGI版
MySQLのバージョン	5.7.31
サーバー内時間	2021-12-13 12:24:45
gettext	利用可
ImageMagick	利用可



@poorman_ui

モジュールIDや、コンフィグセット、ルールはインポート・エクス

ポートできます 😊

最初は、インポート・エクスポートできること知らなくて、ローカル環境で設定したモジュールIDやコンフィグセットを本番環境でもう一度設定し直すという非効率なことをしていました... 🤦



@poorman_ui

メディアのカスタムフィールドでwidthとheightを設定する

メディアのカスタムフィールドには悲しいことに、
画像のカスタムフィールドのように幅と高さを出力
してくれる変数がありません。 😂

320×240 のように幅と高さをまとめて出力してくれ
る変数はあるので、`split` 校正オプションを活用して
います。 😎



```

```



@poorman_ui

管理ボックスはカスタマイズできます☺

コンテンツ専用の「エントリー作成」ボタンで、よりわかりやすく。
上記の公式ドキュメントがわかりやすいです。

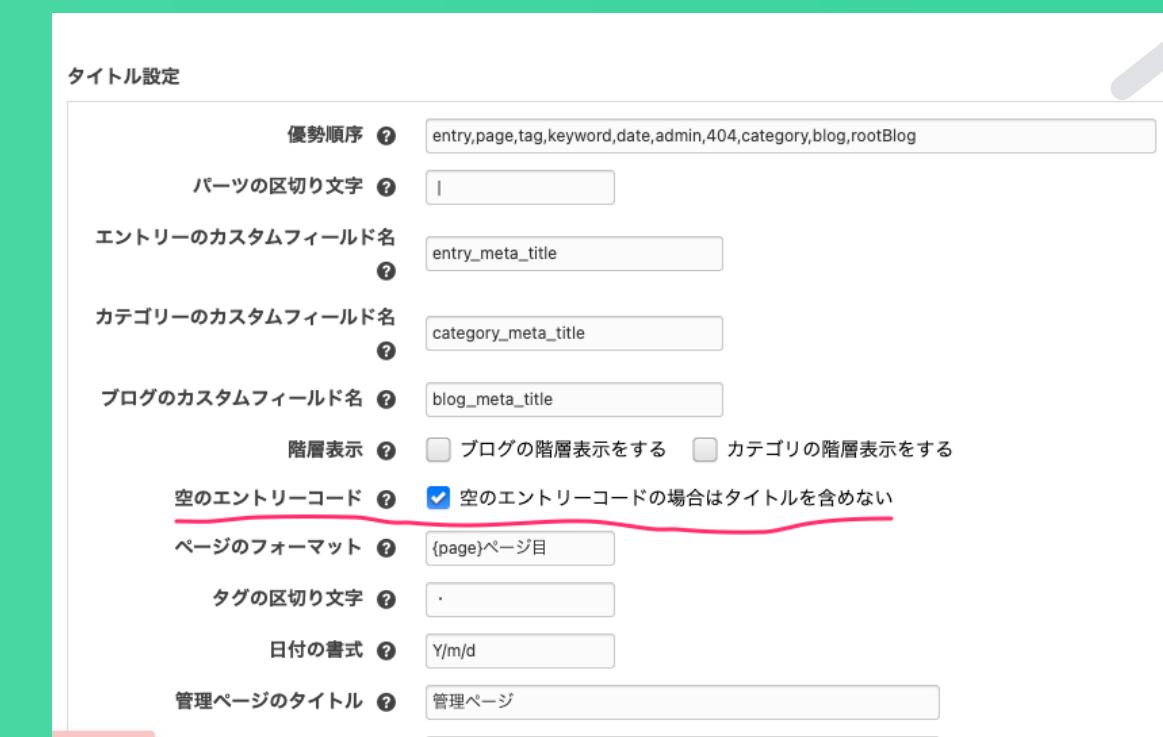


@poorman_ui

エントリーコードが空の場合はエントリーのタイトルをタイトルタグ に出力しない

一道さんの記事で言及されている通り、a-blog cmsでエントリーを作成する際にはエントリーコードを空にして作成することができます。

エントリーコードを空にしてエントリーを作成すると、そのエントリーのOGPモジュールによって出力されるタイトルタグが エントリータイトル | カテゴリーネーム | ブログ名となってしまいますが、OGPモジュールの設定をすることで カテゴリーネーム | ブログ名 として出力させることができます。



@poorman_ui

PDFのサムネイル画像に任意のページを選択する

メディア機能で登録されたPDFのサムネイル画像はPDFファイルが複数ページある場合、任意のページをサムネイル表示することができます。☺



Entry_Summary系のモジュールでecdを表示する

Entry_Summary系のモジュール（Entry_ListやEntry_Headline）ではエントリーコードを表示することができませんが、Entry_Fieldモジュールとエスケープ、ctxの機能を組み合わせることで新しくモジュールIDを作成することなく表示できます。
右のコードでは組み込みJSのscrollToのアンカーリンク先を設定するために実装しています 😊

```
<!-- BEGIN_MODULE Entry_List id="{{module_id}}"-->
<div class="c-local-nav">
  @include("/admin/module/setting.html")
  <ul class="c-local-nav__list">
    <!-- BEGIN entry:loop -->
    <li><a <!-- BEGIN_MODULE\Entry_Field ctx="bid/%{BID}/cid/%{CID}/eid/>
      <p class="c-local-nav__title">{title}<span class="text-word-break">について
      <i class="fas fa-angle-down c-local-nav__ico"></i>
    </a></li>
    <!-- END entry:loop -->
  </ul>
</div>
<!-- END_MODULE Entry_List -->
```



@poorman_ui

ページャーの総エントリー数が色々便利な件 😊

Entry_Summary や Entry_Body などのページャーが使用できるモジュールで表示できる `{{itemsAmount}}` という変数が便利

- カテゴリーで絞り込んだときの件数表示に役立つ！
- エントリーの件数が〇〇件だった場合〇〇したいといった場合に最適 😊

ページャーという機能名からは想像がつきにくい使い方ができます 😊

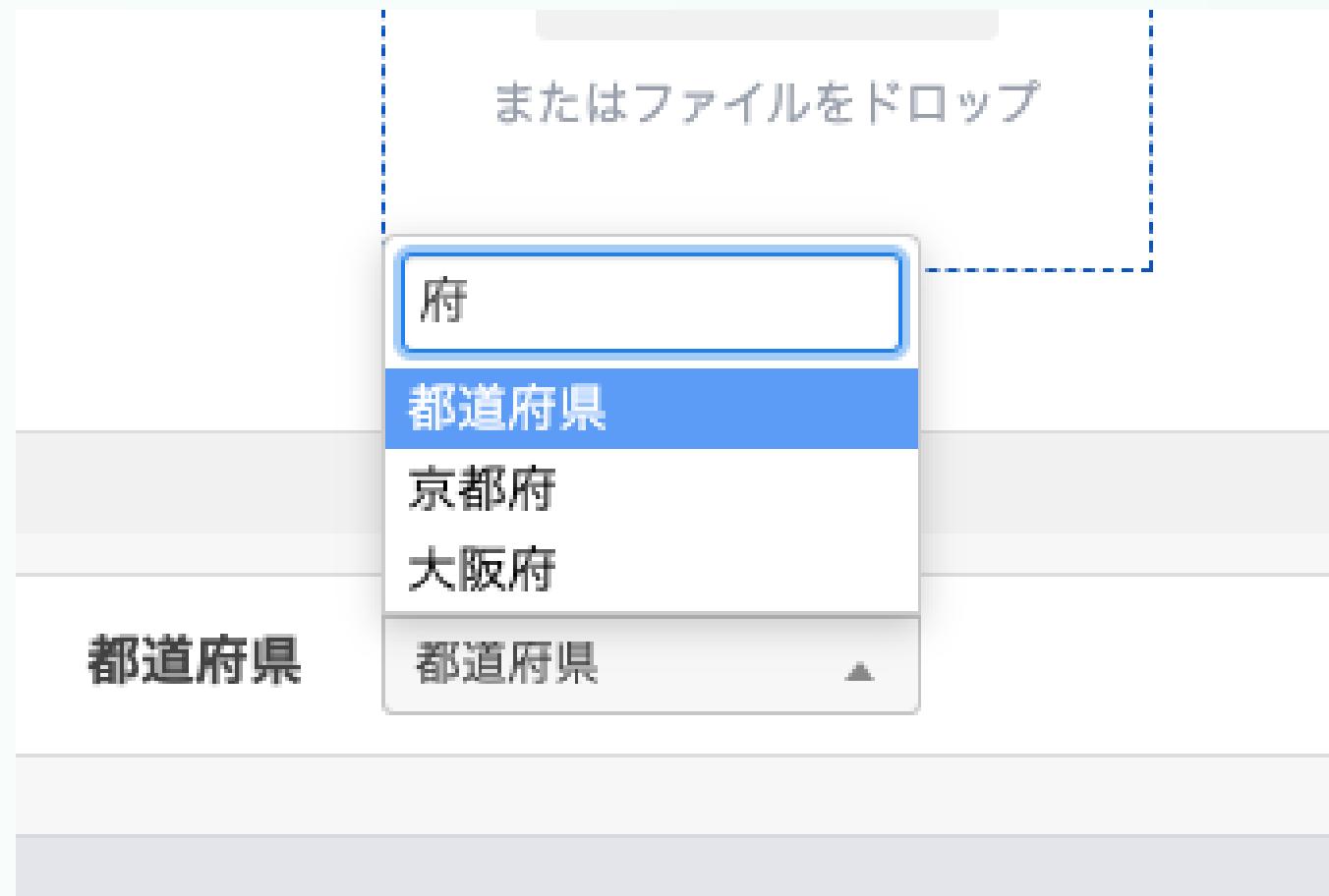


@poorman_ui

管理画面ではSelect2というJavaScriptが使用できる

選択肢の多いセレクトボックスのカスタムフィールドを実装するときに便利 😊

```
<select name="prefs" class="acms-admin-form-width-mini js-select2">
  <option value="" selected>都道府県</option>
  <option value="北海道" {prefs:selected#北海道}>北海道</option>
  <option value="青森県" {prefs:selected#青森県}>青森県</option>
  <option value="岩手県" {prefs:selected#岩手県}>岩手県</option>
  ...省略
</select>
<input type="hidden" name="field[]" value="prefs" />
```



select2を使って複数の値を選択できるselectボックスを作る

HTML

```
<select name="prefs[]" class="js-select2" style="width: 300px;" multiple>
<option value="" selected>都道府県</option>
<option value="北海道" {prefs:selected#北海道}>北海道</option>
<option value="青森県" {prefs:selected#青森県}>青森県</option>
<option value="岩手県" {prefs:selected#岩手県}>岩手県</option>
...省略
</select>
<input type="hidden" name="field[]" value="prefs" />
```



CSS

```
.select2-container .select2-selection--multiple.acms-admin-selectbox {
  min-height: auto;
  padding: 0;
  background-color: #fbfbfb;
  border: 1px solid rgba(0, 0, 0, 0.2) !important;
}

.select2-container .select2-selection--multiple.acms-admin-selectbox[aria-expanded="true"] {
  background-color: #fff;
  border-color: rgba(0, 0, 0, 0.2);
}

.select2-container .select2-selection--multiple.acms-admin-selectbox .select2-selection__choice {
  padding: 2px 5px;
}

.select2-container .select2-selection--multiple.acms-admin-selectbox .select2-search__field {
  min-height: auto;
  line-height: 1;
}

.select2-container .select2-selection--multiple.acms-admin-selectbox .select2-search__field input {
  width: 100%;
```

ここで少し一休み



次は、**a-blog cms**公式slackチャンネルで**a-blog cms**ユーザーの方々が投稿してくださった技を紹介します。！

グローバル変数の値も表示されます！ベンチマークモード 😎

グローバル変数

global vars	values
{BID}	1
{UID}	
{CID}	13
{EID}	
{RID}	
{RVID}	
{UTID}	
{CMID}	
{TBID}	
{KEYWORD}	
{TAG}	
{FIELD}	
{DATE}	



@poorman_ui

IFブロックが意図通り動かない時あるある



IFブロックの値に改行が入るとIFブロックが動かない

たとえば右のような記述は `{hoge}` に改行（コード）が含まれているとIFブロックが正常に動作せず、全部表示されてしまいます 😱

```
<!-- BEGIN_IF [{hoge}]/lk/あいうえお -->
<p>あいうえおが含まれます</p>
<!-- ELSE -->
<p>あいうえおが含まれていません</p>
<!-- END_IF -->
```



IFブロックの値に演算子が入るとIFブロックが動かない

- また、先程のコードで `{hoge}` にIFブロックで使用するオプション（演算子）が入っている場合も動作しません
- 例えば、値として `/category/field/fuga/lk/あいうえお` が入力された場合、"あいうえおが含まれていません" というテキストが表示されてしまいます。



...その結果

- 変数に改行が入力される可能性がある場合は、`[delnl]` の校正オプション
- 変数にオプション（演算子）が入植される可能性がある場合は、`[convert('A')]` の校正オプション



```
<!-- BEGIN_IF [{hoge}{convert('A')|delnl}/lk/あいうえお] -->
<p>あいうえおが含まれます</p>
<!-- ELSE -->
<p>あいうえおが含まれていません</p>
<!-- END_IF -->
```



@poorman_ui

○○_Field と ○○Field の違い

○○_Field という名前がつけられているフィールドモジュールと Entry_Sumamry や Entry_Body といった一部のモジュールの中に存在する○○Field (フィールドブロック) は名前が似ていることもあります、とってもややこしいことでしょう



細かい違いはいくつかありますが、実装時にどちらを使用するかの選定基準としては以下のようになります

フィールドモジュールはモジュールなのでエスケープして使用することができます。逆にフィールドブロックはブロックなので実行順序を操作する事ができません。



@poorman_ui

クエリストリングの値（バリュー）をグローバル変数で取得する

たとえば、`<https://developer.a-blogcms.jp/document/search.html?keyword=テスト&start=1>` というURLのページで↓のHTMLを記述すると

```
<p>クエリストリングを取得：%{start}</p>
```

出力結果は「クエリストリングを取得：1」となります。

僕が、最もよく利用するのは、Custom Search API との連携して、サイト内検索を実装するときでしょうか 😊



@poorman_ui

Field_Searchモジュールでカスタムフィールド検索の値を保持する

- Field_Searchモジュール を使用することで、カスタムフィールドで検索したとき、検索結果のテンプレートで検索したカスタムフィールドの値を表示できます。
- `<option value="red" {color:selected#red}>赤色</option>` の `{color:selected#red}` の記述を動かすことができます。
- また、検索後のURLが https://example.com/field/color/red/ となっているときに↓のようにField_Searchモジュールを使うと red のように `{color}` の値が表示できます。

```
<!-- BEGIN_MODULE Field_Search -->
<p>{color}</p>
<!-- END_MODULE Field_Search -->
```



@poorman_ui

最後に

- slackでの募集に回答していただいた皆様！ありがとうございました 😊
- 発表を聞いてくださった参加者の皆様もありがとうございました 😊
- Twitterもよろしければフォローお願いします 🐦
- [@poorman_ui](#)



[@poorman_ui](#)